

議会改革特別委員会（第13回）

日 時	平成28年2月25日（木）午前10時から
場 所	第1議会委員会室
出席委員	全員
委員外議員	なし
欠席委員	なし
協議事項	1 新年度予算説明会の検証について 2 議会による事業評価の課題について 3 その他

概 要

1 新年度予算説明会の検証について

<よかった、感謝>

- ・ 初回としては、全体としてよかった。
- ・ これだけの資料を用意していただいた関係部署に感謝。
- ・ 資料は、事業実績や概要まで見ることができ、これからも利活用できる。ありがたい。
- ・ 丁寧な説明と時間に追われた説明があったが、赤裸々な状況が見えたのは評価できる。
- ・ 積算根拠、財源の内訳、目的、実績等が把握でき、いい勉強になった。
- ・ よい機会であった。
- ・ 小事業調書を使って説明を受けることができたのは、かなり勉強になった。
- ・ これだけの資料なので、もらっただけでは自分が興味のあるところしか見ないだろう。説明してもらえる時間を持てたことがよかった。
- ・ 今回は大変良かった。反省点を次に生かしていきたい。
- ・ 今まで見えなかったところが勉強でき、非常に有意義だった。
- ・ 一生懸命な説明には、私たちも引き込まれた。
- ・ 資料のおかげでチェックがしやすい。このような取り組みにより、議会

として執行部への提案もできるようになる。

<執行部の説明について>

- ・ わかりやすい説明と事務的な説明があった。
- ・ 「議員にわかってもらうんだ」という意欲の薄い課長もいた。
- ・ 課長にはもっと積極的に自らの考えで発言してもらうとよい。
- ・ 積算根拠の説明のない部署があったので、読み上げでもいいので説明してほしかった。
- ・ 調書に書かれていない説明があると、事業への思いが感じられた。
- ・ 事業に対する議員の興味の度合いによっても、説明の受け止め方が違う。
- ・ 課長の説明に対する議員の反応を見て、部長は説明の終わりにフォローをしていただけるとよい。
- ・ 継続事業では、「今年の工夫」とかそういった説明も聞きたい。

<日程、時間について>

- ・ 各部に配分された時間はすべて使ってほしかった。時間が余らないように説明してほしかった。
- ・ 一方的な説明であったが、質疑を行うには時間の問題がある。
- ・ 時間の制約もあり、事業に対する熱意までは伝わりにくかった。
- ・ 時間配分の難しいところがあったと思う。時間に余裕を持って説明してもらえるとよかった。
- ・ もう1日、日程を増やしてもよいのでは。
- ・ 時間にとらわれすぎて説明を走る課長があった。時間にゆとりがあると落ち着いた説明が聴けたのでは。

<その他>

- ・ 各部局が自分の事業を掌握することでも意味があった。
- ・ 小事業調書の様式については検討の余地あり。
- ・ 今年度は初回であったからこの内容でできた。来年度はどのような内容で実施するか検討が必要。
- ・ 委託費がたいへん増えている。そのようなことが分かる資料も今後提供されるとありがたい。

2 議会による事業評価の課題について

(かほく市と多摩市の評価シート、スケジュールを比較した後)

- ・ 6月議会前には委員会のあり方について結論を出したい。
- ・ 継続性という観点から、予算決算に関する委員会の立ち上げが有効。
- ・ 閉会中の委員会活動として事業調書の説明を受けることは可能。
- ・ 事業評価で何をするのか漠然としている。500を超える事業からどんな事業を抽出し、何をどうやって評価するのか。その目的は。これらを明らかにしてから取り組むことが必要であり重要。
- ・ 常任委員会にするのか特別委員会にするのか。

3 その他

- ・ 4月に先進地視察を行うため、飯田市議会との交渉を進める。

まとめ

◎ 委員会のあり方について

- ・ 6月議会前には委員会のあり方について結論を出す。

◎ 先進地視察について

- ・ 4月に飯田市議会を視察する。